

## 第3号事業

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成		事業・枝事業番号	3-1	
事業名	トップアスリートとの交流事業			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業拡充
目 的	1. 一流の技術や迫力に触れる機会を提供し、感動や忘れられない思い出を与え、将来への夢を抱くきっかけづくりを行う 2. スポーツの楽しさを体験できる機会を提供し、スポーツ活動への興味や参加へのきっかけづくりを行う。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	50	100	△ 50	部	経常増減の部
自主財源	1,087	365	722	大科目	事業費
区補助金	1,971	1,947	24	種別	自主事業
経常収益計	3,108	2,412	696	(単位:千円)	
事業費	1,137	465	672		
人件費	1,971	1,947	24		
経常費用計	3,108	2,412	696		

## 事業の計画

<p><b>1 実施内容(予定)</b>          プロスポーツ公式戦への招待やスポーツ教室等を通じ、トップアスリートの技術や迫力に触れる機会を提供する。          (1) 試合観戦・交流ツアー等              プロスポーツ公式戦等区民優待観戦、一流選手交流ツアー等の実施          (2) スポーツ教室・体験会・講演会等              トップアスリートによるスポーツ教室・体験会を単発または通年で実施する。</p> <p><b>2 成果指標</b>          参加者数/5,333人(平成24年度実績:1,651人)          (内訳)単発事業 1,800人(平成24年度実績:1,651人)                通年事業 3,533人(定員96人×年間46回×80%)</p> <p><b>3 実施上の課題</b>          (1) 試合観戦・交流ツアー・スポーツ教室・体験会ともに、新規連携先の獲得と、既存連携先との協議により、種目数、実施数、定員数の拡大を図り、より多くの区民に参加の機会を提供する。          (2) 東京オリンピック・パラリンピック関連イベント等との連携を図る。</p> <p><b>4 顧客満足度の向上方策</b>          (1) 区民に多彩なプログラムを提供できるよう、新規連携先を確保する。          (2) 新宿区体育協会との連携により、オリンピック関連プログラムや子ども向け体験プログラムを検討する。</p> <p><b>5 実績</b>          平成24年度          (1)試合観戦・交流ツアー等            ①日テレベレーザサンクスマッチ(公式戦無料/割引、ピッチ見学)6/10 延べ参加者数:291人            ②東京ヴェルディサンクスマッチ                (公式戦無料/割引、手つなぎキッズ、ピッチ見学)6/13 延べ参加者数:189人            ③埼玉西武ライオンズ感謝デー(公式戦割引、バックヤードツアー)6/24 延べ参加者数:179人            ④東京ヤクルトスワローズ燃えろナイター(公式戦無料/割引)8/3～5 延べ参加者数:235人            ⑤東京ヴェルディ・東京都バレーボール協会(Vチャレンジリーグ観戦)1/19～20 延べ参加者数:51人            ⑥JBLバスケットヨタホームゲーム(公式戦無料/割引、セレモニーキッズ)3/9 延べ参加者数:28人          (2) スポーツ教室・体験会            ①GTFキッズスポーツサミット(トップアスリートによる体験プログラム7種目)7/16 延べ参加者数:288人            ②放駒部屋大相撲ランドinスポレク(デモンストレーション、相撲体験)10/8 延べ参加者数:300人            ③東京ヴェルディ・東京都バレーボール協会(バレーボール教室)1/19～20 延べ参加者数:28人            ④東京ヤクルトスワローズつばめ野球教室(小学生高学年向け野球教室)3/20 延べ参加者数:208人</p> <p><b>6 対前年度予算増減説明</b>          (1) 実績精査による自主事業収益の減          (2) 講師・指導者派遣委託費の増</p>	<p>根拠法令</p> <p>スポーツ基本法</p> <p>事業開始</p> <p>平成18年度</p>
--	--

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-2
事業名	新宿シティハーフマラソン・ 区民健康マラソン			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業拡充
目 的	「健康推進都市新宿」を区内外へ積極的に発信するとともに、子どもから高齢者、障がい者等「誰でも」気軽に集い、楽しめる場を提供するため、区民をはじめ、多くの人に親しまれる市民マラソンを実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	6,000	6,000	0	大科目	事業費
区補助金	34,746	12,678	22,068	種別	自主・補助
経常収益計	40,746	18,678	22,068	(単位:千円)	
事業費	16,433	10,080	6,353		
人件費	24,313	8,598	15,715		
経常費用計	40,746	18,678	22,068		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 実施日 平成27年1月25日(日)
- (2) 会 場 明治神宮野球場、明治神宮外苑、外苑周辺道路、外苑東通り、新宿通り、靖国通りほか  
※国立競技場改築工事に伴い、明治神宮野球場及び明治神宮外苑を主会場にして、大会を実施する。また、警察等の関係機関との調整に基づき、新たなコース設定を検討する。
- (3) 実施内容 ①ハーフマラソンの部(一般男女、40歳以上男女、50歳以上男女、60歳以上男女)  
②10kmの部(一般男女、40歳以上男女、50歳以上男女、60歳以上男女)  
③区民健康マラソンの部(3kmの部、2kmの部、ファミリーの部、ひよこの部など)  
④実施可能な場所でイベントや物販等、事業を盛り上げる企画を実施する。

### 2 成果指標

延べ参加者数/20,000人(平成24年度実績:21,922人 うち競技参加者数:10,922人)

### 3 実施上の課題

- (1) 主会場及び新コースの円滑な調整と、それに則した実施種目及びイベントを検討する。  
(2) 問合せ対応等、参加者サービス向上を目的とした専従スタッフを配置する。  
(3) 円滑な大会準備作業を目的としたボランティアの確保、育成及び組織化と協力体制を構築する。  
(4) 参加者の満足度を向上・安全な大会実施のための運営体制の確立と財源の安定的確保を図る。

### 4 顧客満足度の向上方策

エントリーサイトでの参加者評価等を活用し、参加者の要望を把握し、より満足度の高い大会運営へと改善していく。

### 5 実績

平成24年度  
第11回大会 申込者数12,808人(ハーフマラソン5,178人、10km2,713人、健康マラソン4,917人)  
ハーフマラソン抽選申込者14,423人、10km抽選申込者1,306人  
区民参加者数 3,270人 区民参加率25.5%(前回比5.1%増)

### 6 対前年度予算増減説明

第13回大会メイン会場の変更に伴う会場使用料(支払負担金)の増  
事務局機能の強化のための人件費増

#### 【参考】特定費用準備資金の状況

- (1) 資金の名称:新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン実施会場等変更準備資金  
(2) 活動の実施予定時期:平成26年度から平成30年度  
(3) 積立金額:20,000,000円  
(4) 本事業への充当額:6,000,000円  
平成26年度(予算)6,000,000円  
(5) 資金残額:14,000,000円

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和61年度
------	---------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-3
事業名	新宿スポレク			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業拡充
目 的	体育の日に、区民が気軽に参加できるスポーツイベントを実行委員会形式で実施し、多様なスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	95	165	△ 70	部	経常増減の部
区補助金	3,422	3,083	339	大科目	事業費
経常収益計	3,517	3,248	269	種別	補助事業
事業費	2,337	2,077	260	(単位:千円)	
人件費	1,180	1,171	9		
経常費用計	3,517	3,248	269		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 日時 体育の日(毎年10月第二月曜 平成26年10月13日(月・祝))9時30分から15時30分
- (2) 会場 新宿コズミックセンター、新宿スポーツセンター、大久保スポーツプラザ ほか
- (3) 連携先 新宿区体育協会、新宿区レクリエーション協会、新宿区スポーツ推進委員協議会ほか、区内団体、都内民間企業
- (4) 延べ来場者数 20,000人
- (5) スケジュール
  - ①4月下旬:第1回実行委員会(事業説明、企画募集説明、意見交換)
  - ②6月中旬:第1回全体連絡会(リーフレット等広報デザイン決定、企画締切、実施内容発表、調整等)
  - ③8月下旬:第2回全体連絡会(イベント当日の運営について説明・調整)
  - ④9月下旬:第2回実行委員会(当日のイベント運営について説明・調整)
- (6) その他  
2020年東京オリンピック・パラリンピックに関連する企画を実施する。

### 2 成果指標

延べ来場者数/20,000人(平成25年度実績:15,889人)

### 3 実施上の課題

- (1) スポーツとレクリエーションの催しに特化し、レガスマつりとの差別化を図る。
- (2) 新宿区体育協会、新宿区レクリエーション協会加盟団体、区生涯学習協働ネットワーク登録団体等への新規参画を呼びかける。
- (3) 内容充実に向けた、新規協賛企業の獲得・新規出展への工夫(会場確保含む)を検討する。

### 4 顧客満足度の向上方策

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定に伴い、関係団体との連携を強化することで、オリンピックの招聘等、次代を担う子ども達の興味・関心を喚起させるイベントを実施する。

### 5 実績

平成25年度  
延べ参加団体数:76団体 延べ来場者数:15,889人  
平成24年度  
延べ参加団体数:86団体 延べ来場者数:15,615人  
平成23年度  
延べ参加団体数:83団体 延べ来場者数:12,661人

### 6 対前年度予算増減説明

オリンピック等の招聘に伴う諸謝金の増

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	昭和59年度
------	---------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-4
事業名	レガス健康づくり事業			担当課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業拡充
目 的	新宿コズミックセンターを中心とした区内公共施設で、区民が定期的・継続的に健康・体力づくりを行うことができる多彩なプログラムを提供し、心身ともに健やかに暮らすことができる、質の高い生活環境の整備に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	19,216	18,651	565	部	経常増減の部
自主財源	△ 3,601	△ 3,238	△ 363	大科目	事業費
区補助金	2,748	2,735	13	種別	自主事業
経常収益計	18,363	18,148	215	(単位:千円)	
事業費	15,615	15,413	202		
人件費	2,748	2,735	13		
経常費用計	18,363	18,148	215		

## 事業の計画

<b>1 実施内容(予定)</b>					
レガスポ！(スポーツプログラムの提供)					
(1) レガスポ！ 通年講座(週40講座)・最少催行20人 【会場】新宿コズミックセンター ヨガ、ピラティスなど、高校生以上の高齢者や親子を含むさまざまな年齢層が参加できるプログラムを提供。今年度は人気の短期講座を1講座増やし週40講座とする。					
(2) レガスポ！10 短期講座(年12講座)・最少催行20人 【会場】新宿コズミックセンター アンケート等でリクエストが多く、近年話題のプログラムや、新講座・ジャンルを提案し提供する。今年度は、従来型を8講座と、新規・既存の「ダンス系レガスポ！」を年間を通し4講座を提供する。					
(3) 出張レガスポ！ 短期講座(年14講座)・最少催行15人 【会場】生涯学習館/大久保スポーツプラザ 人気講座を新宿コズミックセンター以外の地域でも実施することで、利便性を高め、利用者の要望にも応える。レガスポ！への参加の機会を増やし、満足度の向上と指定管理維持に貢献する。					
(4) 出前レガスポ！ 団体等の依頼により実施する講座。要望に応じたプログラムを提供する(講師手配・講座準備など)					
<b>2 成果指標</b>					
延べ参加者数/50,000人(平成24年度実績:53,858人)					
<b>3 実施上の課題</b>					
(1) 安全で快適な受講環境を確保するため、参加者増に伴い混雑している一部の通年講座において、空き施設の有効利用により適切な会場設定を行う。					
(2) より多くの区民に受講機会を提供するため、生涯学習館の開催機会の拡充を図り、新宿コズミックセンターに偏在している受講環境を区内に分散させる。					
<b>4 顧客満足度の向上方策</b>					
(1) 新宿コズミックセンターの利用施設の講座レイアウトと備品の最適配置を図り、安全で快適な環境改善を行う。					
(2) 生涯学習館や大久保スポーツプラザの空き施設を有効利用し、安全で快適な環境を提供する。					
<b>5 実績</b> (単位:人)					
	平成24年度	平成23年度	平成22年度	備考	
(1) 通年レガスポ！	43,314 (38講座)	37,750 (37講座)	40,812 (37講座)	平成25年度からレガスポ!10に改名	
(2) レガスポ！20	5,482 (17講座)	2,750 (14講座)	3,049 (16講座)	出前レガスポ！(2講座) 40人	
(3) 出張レガスポ！	3,235 (18講座)	705 (8講座)	72 (2講座)	通年レガスポプログラムで実施	
(4) 託児サービス	1,827	1,707	2,178	(生後6か月～未就学児対象)	
計	53,858	42,912	46,111		
<b>6 対前年度予算増減説明</b>					
実施講座数の拡大による参加料収入の増					

根拠法令	スポーツ基本法	事業開始	平成12年度
------	---------	------	--------



# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-5
事業名	新宿区体育協会及び新宿区レクリエーション協会加盟団体への支援			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業統合
目 的	一般社団法人新宿区体育協会及びNPO法人新宿区レクリエーション協会加盟団体の活動を支援することにより、区民のスポーツ活動の振興を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	6,795	6,778	17	大科目	事業費
経常収益計	6,795	6,778	17	種別	補助事業
事業費	2,076	2,095	△ 19	(単位:千円)	
人件費	4,719	4,683	36		
経常費用計	6,795	6,778	17		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

「代表選手の派遣」を事業統合

- (1)新宿区体育協会の事務局運営の支援
- (2)新宿区体育協会加盟団体及び新宿区レクリエーション協会の財団管理施設利用における、優先利用・利用料減免による活動支援
- (3)各加盟団体の主催事業について、広報協力等による支援
- (4)平成26年度都民体育大会結団式の開催
- (5)平成26年度都民体育大会(第67回春季大会、第68回夏季大会・冬季大会)への選手派遣
- (6)第67回都民体育大会春季大会の開会式・閉会式への参加
- (7)第26回都民スポレクふれあい大会への選手派遣
- (8)平成26年度都民生涯スポーツ大会への選手派遣
- (9)第63回東京都フナ釣り・ハゼ釣り大会への選手派遣

### 2 成果指標

団体組織の拡充に繋がる事業の支援

### 3 実施上の課題

- (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての気運醸成に繋がる支援方法を協議する。
- (2) 運営体制強化に向けた中期的な計画を策定する。

### 4 顧客満足度の向上方策

成績優秀者については財団広報紙及びホームページでの紹介や表彰を行うなど、派遣選手のモチベーション向上を図る。

### 5 実績

(1) 財団管理施設優先利用団体 施設利用者数 215,949人

(2) 「代表選手の派遣」の実績

年度	都民大会春	都民大会夏	都民大会冬	都フナ釣り	都ハゼ釣り	都民生涯スポ	スポレクふれあい	合計	結団式
平成24年度	342	35	31	7	5	129	150	705	72
平成23年度	299	25	31	中止※	7	164	134	660	45
平成22年度	349	35	30	7	6	161	125	713	58

※平成23年度の東京都ハゼ釣り大会は、東日本大震災の影響で中止

### 6 対前年度予算増減説明

派遣選手数の変更による支払負担金の減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法	事業開始	昭和46年度
------	---------------	------	--------

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-6
事業名	区民スポーツ大会			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業統合
目 的	健康への関心の高まりとともに増加してきた、日常的にスポーツを愛好する区民が、日頃の活動成果を発表する機会をつくることにより、スポーツの継続実施を定着させ、健康や体力の増進を図る。また、大会を通して区民の親睦と交流を図る。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,567	1,603	△ 36	部	経常増減の部
区補助金	11,943	11,088	855	大科目	事業費
経常収益計	13,510	12,691	819	種別	補助事業
事業費	10,762	10,424	338	(単位:千円)	
人件費	2,748	2,267	481		
経常費用計	13,510	12,691	819		

## 事業の計画

<p><b>1 実施内容(予定)</b>  「区民総合体育大会」、「小・中学生大会」の小・中学生軟式野球、小学生サッカーを事業統合  (1) 大会期間  ① 総合開会式 平成26年9月7日(日)  ② 大会期間 平成26年6月～27年3月  (2) 実施競技  一般の部31競技、中学の部11競技(前年度比1増)  小学生の部4競技(前年度比2増) 計46競技を実施予定  (3) 参加料  ①個人競技 200円  ②ペア競技 400円  ③団体競技 15人以上登録競技2,000円、5人前後登録競技1,200円</p> <p><b>2 成果指標</b>  参加者数/14,450人(平成24年度実績:12,329人)</p> <p><b>3 実施上の課題</b>  (1) 小・中学生大会の事業統合と調整  中学生野球大会については、中学校体育連盟が主管し学校対抗戦で実施している既存の区民大会に対して、地域のクラブチームが多く出場する財団主催の大会であるという現状を踏まえ、2大会のあり方を検討する。  (2) 陸上競技場の会場確保  国立霞ヶ丘競技場の改築にともない、新会場の安定した確保と円滑な大会運営ができるよう準備・調整を行う。  (3) 大会運営委託業務の範囲(業務分担)について、主管団体(新宿区体育協会)と協議を進める。</p> <p><b>4 顧客満足度の向上方策</b>  競技主管団体と実施方法についての綿密な事前協議や事後アンケートを行うことで、多様化する参加者ニーズを踏まえた競技運営を行う。</p> <p><b>5 実績</b>  平成24年度  参加者数:12,329人  一般の部:30競技9,433人、中学生の部:10競技2,410人、小学生の部:1競技89人、開会式397人</p> <p><b>6 対前年度予算増減説明</b>  荷物運搬用車両賃借料計上による増</p>	<p>根拠法令</p> <p>社会教育法、スポーツ基本法</p> <p>事業開始</p> <p>昭和41年度</p>
---	--

# 平成26年度事業計画書

定 款	3 スポーツの振興と地域のスポーツ活動を通じた健全な心身の育成			事業・枝事業番号	3-7
事業名	団体等と連携したスポーツ普及事業			担 当 課	学習・スポーツ課
				変更内容	事業統合
目 的	1.スポーツ団体をはじめとする地域団体等との連携により多様な種目の講座を実施し、各種目の普及と振興を目指し、かつ団体の活動活性化を図る。 2.区民に対し、気軽にスポーツに取り組む機会を提供し、スポーツ習慣の定着を図るとともに、健康で豊かな生活の促進に寄与する。 3.スポーツを通じた区民相互の交流を図り、仲間づくりや地域コミュニティの形成に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	466	716	△ 250	部	経常増減の部
自主財源	976	392	584	大科目	事業費
区補助金	3,235	5,196	△ 1,961	種別	自主・補助
経常収益計	4,677	6,304	△ 1,627	(単位:千円)	
事業費	1,928	3,099	△ 1,171		
人件費	2,749	3,205	△ 456		
経常費用計	4,677	6,304	△ 1,627		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

「ニュースポーツ・レクリエーション大会」、「小・中学生大会」の小学校将棋大会、小学生百人一首大会を統合

- (1) 陸上教室(小学生等対象) 10回×30人×2講座
- (2) 健康ウォーキング 毎月1回+特別プログラム2回 合計14回
- (3) 夏休みラジオ体操 夏休み期間中、70会場以上で開催
- (4) レクリエーション種目教室(2講座) 新宿区レクリエーション協会関連団体等との連携により実施
- (5) ソフトバレーボール大会
- (6) 小学生将棋大会
- (7) 小学生百人一首大会
- (8) 新規頭脳スポーツ大会 1日間 区内在住・在学の小学生 100人
- (9) 平成26年度夏季巡回ラジオ体操の支援

### 2 成果指標

延べ参加者数/79,500人(平成24年度実績:75,691人)

### 3 実施上の課題

- (1) 平成26年度より使用不可となる、陸上教室会場の旧四谷第三小学校代替施設を確保する。
- (2) 新規頭脳スポーツ種目の選定と継続実施に向けた関連団体との調整を行う。

### 4 顧客満足度の向上方策

多彩なプログラムによる参加機会を提供する。

### 5 実績

平成24年度

- (1) 陸上教室(小学生等対象)(連携先:新宿レガス陸上クラブ 会場:四谷第三小)
  - ①夏教室 8月13日(月)~9月20日(木) 全11回 延べ参加者数:390人
  - ②冬教室 11月12日(月)~1月31日(木) 全11回 延べ参加者数:384人
- (2) 健康ウォーキング(連携先:NPO法人新宿区ウォーキング協会)
 

8月を除く毎月 計14回 延べ参加者数:586人
- (3) 夏休みラジオ体操(連携先:新宿区ラジオ体操会連盟他 会場:区内各71ヶ所)
 

開催団体 79団体 延べ開催日数 1,200日 延べ参加者数:75,503人
- (4) 新宿区ソフトバレーボール大会 12月25日(土)18チームによるトーナメント戦 参加者数:93人
- (5) 小学生将棋大会 8月18日(土) 参加者数:57人
- (6) 小学生百人一首かるた大会 2月3日(日) 参加者数:38人

### 6 対前年度予算増減説明

トリムマラソンの廃止による減

根拠法令	スポーツ基本法、社会教育法	事業開始	平成22年度
------	---------------	------	--------